



鹿 骨 東 小 学 校



鹿骨東小学校公式ホームページ <http://edogawa.schoolweb.ne.jp/shishibonehigashi-e/>

アジアの国に目を向けよう

校長 中田 伸代

4月28日、石破総理がベトナム訪問をし、ベトナムのファム・ミン・チン首相と会談しました。ちょうどその日、鹿骨東小学校の体育館では、在日ベトナム学生青年協会 元副会長、ベトナム語クラブ会長のダオ・ティ・フォンさんによる、ベトナム文化交流プログラムの出前授業が行われました。3年生、4年生に、ベトナムの位置、自然や生き物、食べものや民族衣装、言葉やバンブーダンスなどをわかりやすく楽しく教えてくださいました。

鹿骨東小学校ではベトナム人の子供たちに留学生のマイン・トゥアン先生が日本語を教えてくださいています。本校の子供たちが、SDGs 募金でベトナムの子供たちに学用品を送り、オンライン交流をしていることをトゥアン先生から聞いた、ベトナム大使館の方の紹介で、今回の文化交流授業が行われました。フォンさんは日本に留学してから、在日ベトナム人の子供たちが日本語しか話せず、ベトナム語やベトナムの文化を知らないことを残念に思い、在日ベトナム人の子供たちにベトナム語や文化を教える「ベトナム語クラブ」を作ったそうです。トゥアン先生も、来日したとき日本語がわからず苦労した経験から、ベトナム人の子供たちの為に役に立ちたいと、横浜から鹿骨東小まで通って、子供たちに日本語を教えて下さっています。二人に共通しているのは、誠実で勤勉な態度や人柄のよさ、子供たちに対する愛情、そしてベトナムと日本の架け橋になりたいという強い思いです。このような素晴らしい若者たちが日本に来て学んでいることに感動するとともに、彼らの姿から学ぶべき事がたくさんあると感じました。また、フォンさんの体験授業の中で本校のベトナム人の児童が嬉しそうにベトナム語を使う場面がありました。普段は恥ずかしがって、人前でベトナム語を使わない児童です。フォンさんからベトナム文化の素晴らしさを学んだことで、自国の文化に誇りを持つことができ本当によかったと思いました。

現在江戸川区は23区で1番多く、外国人の方が住んでいます。これからの社会で生きて行く子供たちには、広い視野と多様な価値観を受け入れる心を持つことが求められます。本校では「ふるさと学習」を通して日本文化に触れる体験活動を多く取り入れています。まずは自分たちの言語や文化を学び、日本文化に誇りを持ち、世界の人に伝えられるようになって欲しいと思います。自国の文化を大切にできる事は、他の国の人や文化も大切にしようとする心を育て、異文化共生にも繋がるのだと考えます。英語が話せることが国際理解教育ではありません。本校ではハロータイムなどで英語学習に力を入れると同時に、ベトナム文化交流等を通して、アジアの歴史や文化と日本のよさを理解する機会を持ちたいと考えます。そして、様々な交流活動や体験活動を通じて真の国際理解やこれからのグローバル社会で共存できる力を育てていけたらと考えています。



